

# 地域の仲間と出会えるアプリ

## ◆サービス概要 価値：近くにいる気の合う仲間と簡単に会える

- ・ 近くにいる気の合う仲間と簡単に「繋がれる」・「集まれる」アプリ
- ・ ロケーションをもとにトークルームを立ち上げる
- ・ 興味のあるトークに参加・実際に集まる

## ◆ユーザーのニーズ

気の合う仲間が欲しい

①実際に会えるか②趣味が合うか で仲間を探せる

## ◆他でなくこのアプリを使う理由

（ただ趣味が同じ、とかだけでなく）実際に仲間になれる人を探せる場所

## ◆マネタイズ

- ①地域広告・求人
- ・ 広告掲載料

- ②物の売買
- ・ 決済手数料

## ◆目指す地点

スマホ時代のCraglist(地域掲示板)

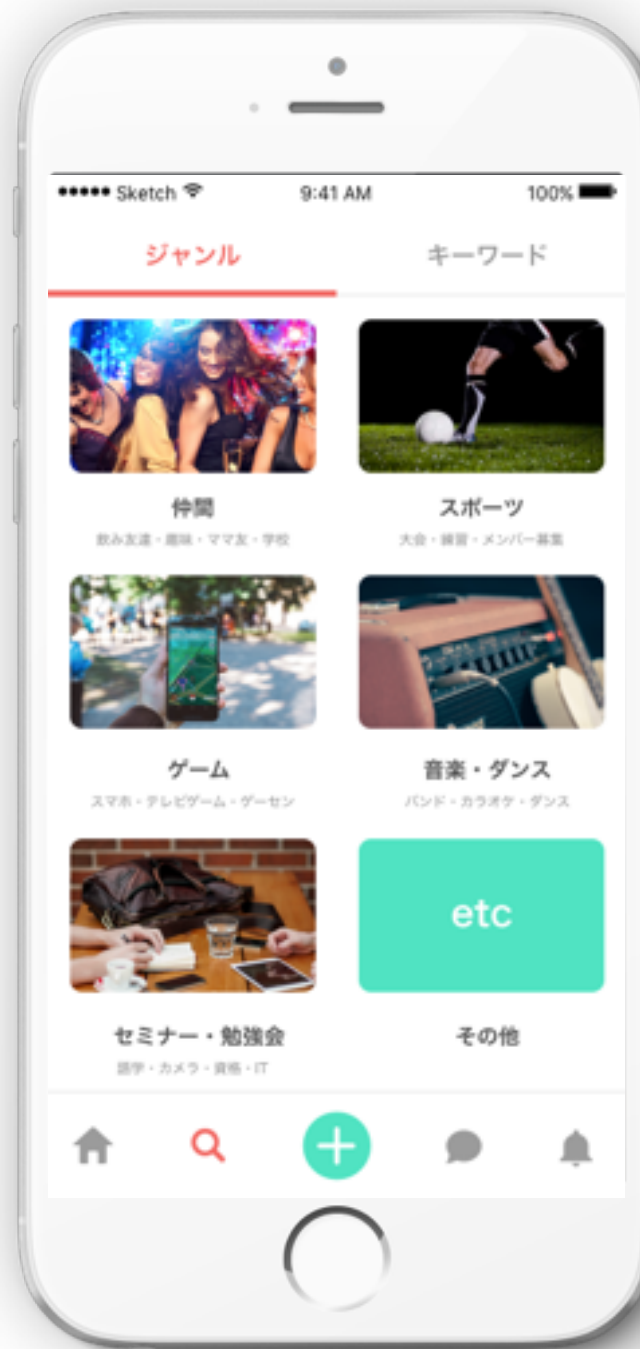
\*craglistはアメリカではインフラになっている地域掲示板サービス  
物の売買や求人・イベント告知などが行われる



## 位置で探す



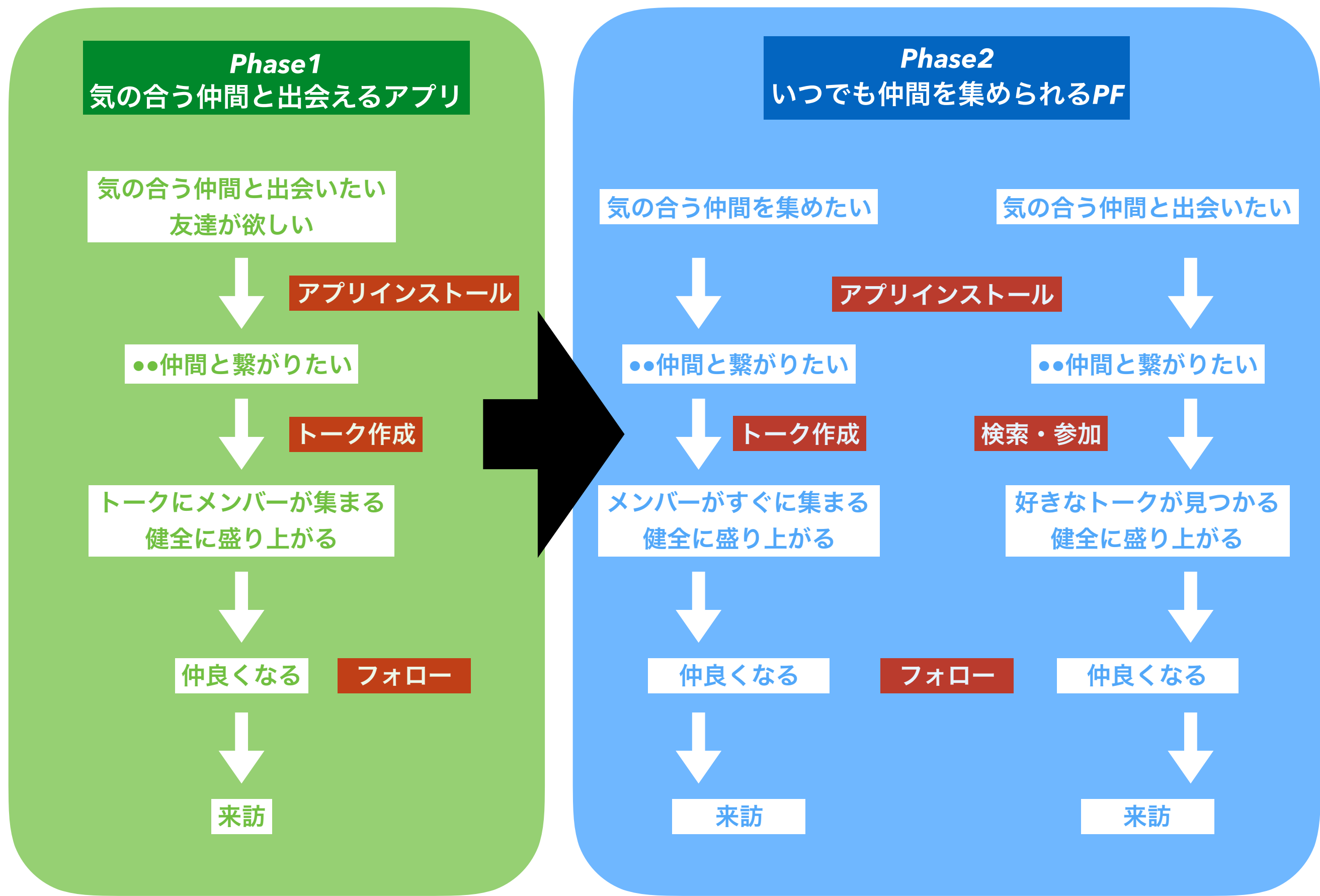
## 目的で探す



## 自由にチャットに参加



◆コアとなるユーザー体験のイメージ



## ◆ユーザー数が集まらないと価値が発揮できない問題の解決

- 「人が多く集まる&その場にいらなくても楽しめるトーク」の数を局所的に増やす

ex) コミケ・LIVEイベント・スポーツ観戦など

- ・ 趣味が近く、活動範囲が比較的近いユーザーセグメントを集中して獲得
- ・ イベントの実況中継となり遠方の人にとって価値があるので拡散性がある
- ・ 公式アプリとしての導入・イベント協賛・ビラ配り

- ジャンル特化でトークルームを増やす

最初の注力ジャンルは下記の3つ

- ① アニメ・ゲーム（リアルイベント・オフ会などが多い、同じアーティストが好きなユーザー同士の結びつきが強い）
- ② 音楽・ダンス（ライブイベントなど一箇所にユーザーが集まるのでユーザー獲得がしやすい）
- ③ スポーツ（同じ場所に大量の集まるが相互のコミュニケーション手段がない・ニュース性があり拡散性を持つ）

- トークルーム単位のシェア機能

- ・ トークルーム自体をSNSにシェアできる機能・ログインしなくてもアーカイブが閲覧できる機能
- ・ コメント・ユーザーのフォローをするためにはアプリDL・会員登録が必要

➡チャット自体をコンテンツ化し、拡散させ、導線を作る



## ◆社長・小池さんフィードバック



### 藤田社長コメント：

事業案はなくはない。

ただ会社でやるなら相当な気合いと覚悟が必要

出会い系で言う「異性と出会いたい」のようなユーザーの明確な目的が必要

→フィードバックを頂いた後、「地域の仲間と出会える」という価値に用途を絞って改善しました。



### 小池さん（CA8/Ameba事業統括）コメント：

検討の余地が大きいと俺は思います。

ただ、現時点だと、難易度としては、

- ・ 近くの人と本当に話せる規模は？
- ・ その規模にお金をかけて広告出す以外で持っていける方法はあるか？

などの、「そのサービス特徴が発揮される地点まで持っていけるか？」

が大きいかと思うのでその戦略を詰めよう！